

ご自由にお持ち帰りください



公益財団法人 宮城厚生協会

坂総合病院


NEWSaka

2016.2
No.4

発行責任者：坂総合病院院長 内藤 孝



あなたの生命救いたい 手術室～緊張の空気の中で～

- 
- 1 あなたの生命救いたい
手術室～緊張の空気の中で～
 - 2 利府町で「市民公開講座 (12/19)」
 - 3 「地域連携室のためのWEBシンポジウム (1/12)」
 - 4 全体職員学習会「医療安全、感染防止 (1/21)」
 - 5 「NST委員会(栄養サポートチーム)の活動紹介」
 - 6 「プライマリケア研修発表会 (1/6)」
 - 7 戦争法廃止2000万署名への取り組み
 - 8 インフォメーションほか

病院理念

わたしたちは、患者さまの権利を尊重し、
共感・協同・平等・安全の
医療をめざします。



多くの感想や要望が寄せられ、 実りある講演会に

事務部長 高橋 輝美

12月19日（土）午前利府町役場の研修室で73名が参加し市民公開講座を開催しました。

冒頭、内藤孝院長が、『ご参加の皆さん、坂病院ってご存知ですか？』と第一声。会場

から笑いが起こりました。『坂病院は、地域の医療機関の先生方や友の会の皆さんと共に地域に根ざした医療活動を行なっています。このような学習企画を今後も開催したいと考えています。』とあいさつしました。

講演①テーマ

「知って得する食事のはなし」

講師 池本あゆみ 管理栄養士



池本あゆみ管理栄養士が標記テーマで免疫力を高めるための食生活について分かりやすくお話ししました。腸内環境を整える発酵食品、粘膜を強くする納豆などのねばねば成分を取ると疲れやすい人や風邪を引きやすい人に効果が高く、切り干し大根などの乾物類には抗酸化成分が豊富に含まれているなど身近な食材の紹介をしました。



参加者からは、『来てよかった。』『分かりやすく充実した講演だった。』『また、利府で講演会を開催してほしい。』など、多くの感想や要望などが寄せられ、実りある講演会となりました。

この講演会のチラシを待合室において頂きました利府の開業医の先生方、誠にありがとうございました。

講演②テーマ

「がん治療について」

講師 盛口 佳宏 医師(外科医長)



続いて外科医長の盛口佳宏医師が標記テーマでお話ししました。主な死因の推移や検診の受診数などデータを示しながら、「がん」についての基礎情報を紹介しました。また、よく耳にするステージⅢとかステージⅣなどの病期の分類や手術療法や化学療法、放射線治療、緩和療法の治療方法も分かりやすく説明しました。

最後に、『がん治療は、同じ病気であっても患者さんによって違う治療を選択することがあります。患者さんに一番合う治療法と一緒に選んでいくことが大切です。がん患者さんご家族一人一人にとって最善の治療・療養を提供していくことが、医療者側の努めです。』

坂総合病院では、多職種、複数の医療スタッフが連携してチームでがん治療に取り組んでいます。医師や看護師だけでなく、薬剤師や栄養士、医療相談員など多職種が一同に介し、がん患者さんの「最善」を検討する“がんよろず相談会議”（Cancer Treatment Board）を定期的に開催しています。気になることがございましたら、ご相談下さい。』と述べました。

1月12日(火)18時～19時30分に、坂病院2階教育ステーションにて「WEBシンポジウム」が開催されました。内藤孝院長はじめ地域医療連携センターのスタッフなど17名が参加しました。今回の「WEBシンポジウム」には、全国から9000人が参加と報告されたとのこと。

講演①テーマ 『急性期病院における地域連携コーディネーターの役割』

講師 齋川 克之氏

済生会新潟第二病院地域連携福祉センター副センター長

齋川氏は、新潟市の在宅医療ネットワークの紹介を中心に、多職種連携の体制と地域の医療連携担当者の育成、そして地元新聞社を巻き込んだ市民への啓発活動としての健康セミナーの実施についてお話されました。

講演②テーマ 『生活者が安心して地域にかえるために』

講師 村上 佳代氏

生長会ベルアンサンプル訪問看護ステーション副部長

村上氏は、看護師として急性期病院で勤務後、地域連携室室長、その後現在の訪問看護ステーションと、豊富な経験から日々の思いが語られました。その中で印象的だったことは『患者・家族の大半は医療介護のシステムを知らない(当事者になるまで知ろうとしない)』『急性期病院のスタッフの大半は地域を知らない(医療＝病院という思い込み)』『地域医療機関の大半は急性期病院の現状を知らない(急性期病院の厳しい経営状況など)』という3つの『知らない』です。だから何が求められるのか…。

コーディネート機能を上げていくことが重要

講師のお二人から、医療の効率化と在宅医療を推進しなければならない現状では、連携実務者が医療・介護の双方について、幅広い情報や知識・ネットワークを持ち、コーディネート機能を上げていくことが重要であるという共通した意見が語られました。まさに当院の地域医療連携センターにおいても求められる今後の課題であると感じました。

メディカルフィットネス のびのび

病院の中にある運動療法施設です。医療スタッフがいつも近くにいるので安心です。随時見学・無料体験も行っております。お気軽にお立ち寄りください。

家族会員割引制度あります!! 詳しくはお問い合わせ下さい。



- 高血糖、高血圧症、脂質異常と診断されている方
 - 脳血管障害や整形疾患、心疾患などでリハビリを必要としている方
 - 体力に自信がない方や高齢者の方
 - 医師から運動を勧められている方
 - 日頃から運動不足を感じられている方
 - その他、今は健康だけど病気になりたくないと思っっている方でも!!
- 私たちと一緒に運動療法を始めてみませんか?
厚生労働省認定健康運動指導士が、一人ひとり丁寧に指導いたします。

諸費用

会員種別	月間利用料	年間登録料
一般会員	5,940円	2,160円
友の会会費	4,860円	

営業時間

会員種別	時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
午前の部	9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	×
午後の部	14:00～17:00	○	○	○	×	○	×	×
夜間の部	17:00～21:00	○	○	○	○	○	×	×

申し込み先・お問い合わせ先／坂総合クリニック1号館6階 TEL 022-361-7011 (内線2515)

「感染防止」と「医療安全」

1月21日（木）の午後の学習時間に、病院セミナー室で、感染対策委員会と医療安全委員会から、下記テーマで前半と後半2回、研修会が開催されました。

*全職員、年2回必修受講の2015年度2回目研修です。

■①感染対策委員会より「感染防止①②」

◇テーマ：「感染防止対策」&「手指衛生」

◇講師：残間由美子 感染管理認定看護師
(感染制御室室長)



対策の基本は「標準予防策」の徹底

感染制御室室長の残間由美子感染管理認定看護師から報告されました。

医療機関で起きた「アウトブレイク」の状況や「環境表面における主な微生物の生存期間」の説明がされました。そして、感染対策方法として、環境の維持管理、消毒と滅菌など、特に、高頻度接触面（例えば手指）の管理の重要性を指摘し、手洗いの方法や環境整備の実際について(ま

ず汚れを除去するな

ど)の基本的な説明など、当院の対策も含め具体的に報告されました。

基本として、「標準予防策」の徹底が改めて強調されるとともに、感染対策の3原則（感染源を断つ、感染経路を遮断する、宿主の感受性を無くす）の重要性について説明されました。

そして、感染対策で医療の質向上をめざすことが強調されました。

■②医療安全委員会より「医療安全①②」

◇テーマ：「医療安全の基本、当院の医療安全対策」

◇講師：高倉 亜里 9階病棟看護師長
(看護部安全推進委員会委員長)



医療事故の特性や状況を認識してもらうために、事例DVD学習として、「安全とヒューマンファクターズ」と「患者・家族からのメッセージビデオ」を見てから、高倉亜里9階病棟看護師長（看護部安全推進委員会委員長）より、当院の対応システムなど説明されました。

そして、医療事故

は人的要因が高いとして、患者さんの安

全を守るために、職員同士のコミュニケーションが大切なこと、チームとしてのより良いパフォーマンスと患者安全を高めるためのツールと戦略など紹介しながら説明されました。

また講義後には、参加者全員へ、それぞれ「感染予防について（環境の維持管理）（手指衛生）確認テスト」、「医療安全学習会（DVD学習）（医療安全基本）小テスト」もありました。



学習会の状況



NST委員会（栄養サポートチーム）の活動紹介

多様なテーマで定例勉強会 「下馬栄養倶楽部」

食養室管理栄養士 池本あゆみ

開催目的は

NST委員会では、NST委員の栄養に関する知識の確認、NST委員以外の職員に栄養に関する興味を持って頂きたい…などの目的で、栄養に関する定例勉強会「下馬栄養倶楽部」を開催しています。

勉強会の内容は

2014年度は、医師、WOC（皮膚・排泄ケア）認定看護師、NST専門療法士らによる「栄養療法の基本」9回シリーズ。NST委員長の伊在井淳子医師による「栄養療法の基本」から始まり、「経腸栄養・輸液の基本」、「急性期栄養」、「摂食・嚥下」、「サルコペニアとりハビリ」、「WOCのお仕事」「薬のはなし」他…と、広く栄

養に関する講義が行なわれました。

熱気溢れる勉強会

2015年度は、各科医師の活躍を知る企画を開催中です。「NST回診のウラ側全てお見せします!」「呼吸器疾患の裏NST」「今さら聞けない? PEG（胃ろう）の常識」「救急センターってなにしてんの?」「心不全教えてあげる!」「末梢血管疾患に対するTotal management～循環器医師の挑戦～」…など、大変勉強になる内容を、とてもわかりやすく、おもしろく各医師に講演して頂いています。毎回30～60名が参加しており、熱気溢れる勉強会です。第3火曜日18時から開催しており、今後も多彩な企画を予定しています。

☆ 禁煙外来のご案内 ☆

タバコがやめられないのは“意志が弱いから”だけではありません。
ニコチンの作用（薬物依存）、心理的依存のためなのです。
「禁煙外来」では禁煙のための様々な支援をしています。



★日時 隔週水曜日 午後2:00～4:30（予約制） ★場所 坂総合クリニック（1号館2階）

★費用【保険診療対象の方】（※3割負担の場合）

◎初診料：約1,500～1,700円 ◎再診料：約1,100円

健康保険等の適用について 健康保険等の適用と禁煙治療にかかる費用

現在、健康保険等を使って禁煙治療が受けられるようになりました。禁煙治療（自己負担3割として）は、処方される薬にもよりますが8～12週間で13,000円～20,000円程度です。1日1箱喫煙する方なら、8～12週間分のタバコ代より保険診療で禁煙治療を受けた場合の自己負担額のほうが安くなる計算になります。（詳しくは下記 健康管理室にお問い合わせください。）

※1日1箱喫煙者を想定しています。（1日430円換算）



お申し込み・お問い合わせ

坂総合病院 健康管理室
直通電話 022-367-9053 代表電話 022-365-5175

「地域プライマリケア研修発表会」開催

医局事務
島 幹子

1月6日（水）の夕方、約30名の医師・職員が参加し、坂総合病院2階教育ステーションにて「地域プライマリケア研修発表会」が開催されました。



参加者の様子

「地域プライマリケア研修」の目標・特徴

「地域プライマリケア研修」は、2年間の初期研修で修得した知識・技術を活かし発展させ、指導医から自立して一人前の医師として総合的に診療する力を身に付けることを目標としています。

研修医は中小規模の病院で患者さんや他職種との信頼関係を構築しつつ、医療を取り巻く社会・経済状況に関心を深め、医師としての自覚を確立する上で、他では得難い経験を積むことができます。

この発表会は、1～2年目研修医へ「地域プライマリケア研修」の紹介や研修先の病院への報告会も兼ねていて、古川民主病院からは呉賢一院長も駆けつけ、テレビ会議システムを通じて他院所の指導医やコメディカルの方にも参加していただきました。



◇泉病院 宮地 康僚 医師

患者さんと継続的な関わりを持つことで地域の中での病院（診療）の役割を感じた。これからの時代、患者さんの求めるものはQOLであり、暮らしをサポートすることが大切だと気づかれたそうです。



◇長町病院 真崎 拓也 医師 （現在は坂総合病院で研修）

中小規模病院ならではのアットホームな雰囲気があり、さまざまな職種とスムーズに連携でき、働きやすいなどといった話が聞かれました。



◇古川民主病院 黒木 史仁 医師

在宅診療を中心に、患者・家族を取りまく環境や、医療スタッフとの連携の大切さなどを実感されたそうです。

最後に、内藤孝院長が「それぞれの研修先の様子が分かって良かった。厚生協会の病院同士、お互い困った時は協力しましょう。」と述べ終了しました。

発表された3名のこれからの活躍を期待しております。



会場風景

「戦争法の廃止を求める統一署名」に 取り組んでいます

**未来に、胸を張ろう。
だから今、戦争法を廃止に。目標は2000万筆！**

昨年9月19日に参議院で強行採決され、成立した「平和安全保障関連法」は、憲法9条が禁じる国際紛争解決のための武力行使を可能とするもので、憲法違反であることは明かです。したがって、「平和安全」の名にかかわらず、その内容はまぎれもなく「戦争法」です。また、憲法解釈を180度くつがえした閣議決定に基づいた違憲の立法は、内閣と国会による立憲主義の否定であり、断じて認めることはできません。

この戦争法が発動されれば、日本は海外で戦争する国になり、自衛隊は海外で殺し殺されることになり、日本自身が武力紛争の当事者となって、「平和安全」とはまったく逆の事態を招くことになります。

戦争法に対しては、国会審議の段階で、憲法の専門家をはじめ、さまざまな分野の人びとから反対の声が上がり、世論調査でも8割が政府の説明は不十分と答えていました。全国の人びとの強い反対の声を国会内の数の力で踏みにじった採決は、主権在民と民主主義を壊す暴挙であり、正当性を欠くものです。

以上の趣旨から、次の事項についてお願いします。

【請願事項】

- 一、戦争法である「平和安全保障関連法」をすみやかに廃止してください。
- 一、立憲主義の原則を堅持し、憲法9条を守り、いかしてください。

*衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣宛への請願署名です。

私たち坂総合病院も加盟する全日本民医連も含め、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」が呼びかけ、全国で2000万筆を目標に取り組んでいます。

全日本民医連で300万筆を目標にし、宮城民医連で4万7000筆、そのうちの8000筆を坂総合病院グループで達成させることを決めました。また、みやぎ東部健康福祉友の会（旧坂病院友の会）も6000

筆を目標にがんばっています。

この間、駅頭や街頭はじめ、近隣のみやぎ生協6店舗前での宣伝・署名行動など取り組み、署名を依頼し対話する中で、様々な方から「私も戦争には反対です」「県外から来ましたがいいでしょうか？（福島市の方）」とか、中には2人3人まとまってしてくれる方や、中学生も署名してくれました。



多くの方が署名してくれました
(みやぎ生協杉の入店前)

署名行動終了後（みやぎ生協杉の入店前）



スタンディングアピール（病院近くの国道沿い）

糖尿病学習会のお知らせ

糖尿病と聞いてどんな病気かわからない方。健診結果の血糖HbA1cの項目が何なのかかわからない方。この機会に糖尿病について学んでみませんか？

日時

2月6日(土)

10:00~12:00 (9:30開場)

会場

坂総合病院 2階セミナールーム

参加費

無料

参加対象

糖尿病について学びたい方ならどなたでもどうぞ。

学習会内容

- 1 運動指導「血糖に良い運動」
(運動療法士)
- 2 食事指導 (管理栄養士)
- 3 講演
「血糖が高いとなぜ悪いのか？」
糖代謝科 沖本 久志 医師



地域医療連携センターから

○紹介の状況

2015年	紹介数	逆紹介数
9月	649	713
10月	720	789
11月	696	704
12月	557	721

(坂総合病院、クリニックの合計数です)

○ご紹介の際は、地域医療連携センターまでご連絡下さい。
※坂総合病院・坂総合クリニックは予約診療を行なっています。

お気軽に地域医療連携センターまでお問い合わせ下さい。
尚、緊急性の高い症状の場合や入院加療も含めての診療
ご依頼の場合は、お電話にてその旨をお知らせ下さい。

《開設時間》

●平日 / 8時30分~17時 ●土曜日 / 8時30分~12時30分
TEL 022-361-4700

※時間外休日は、救急処置室に繋がります。

コールセンターから

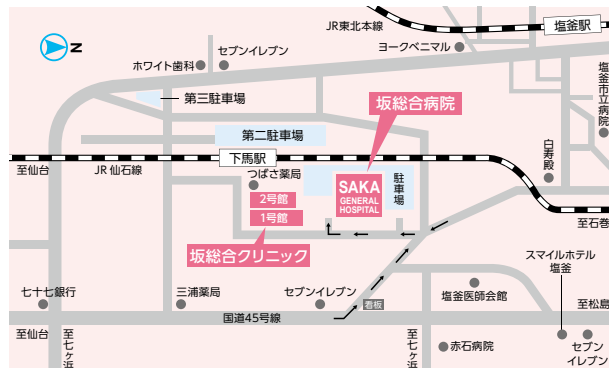
○診療の予約・変更・お問い合わせは、コールセンターで承ります。

平日(月~金) : 8時30分~16時30分
(小児科のみ8時から開始)

土曜日 : 8時30分~11時30分
(小児科のみ8時から開始)

※紹介状をお持ちの方は必ずその旨をお伝え下さい。
※上記時間以外で救急診療のお問い合わせは、病院
代表番号にお電話をお願いします。

TEL 022-361-8288



- 電車をご利用の場合 JR仙石線・下馬駅下車(駅前が病院です。)
- お車をご利用の場合 2014年4月の増築に伴い、以前に比べて第一駐車場が狭くなりました。ご不便をお掛けしますが、第三駐車場に駐車し、送迎バスをご利用いただけるよう協力お願いいたします。

連携医療機関の先生方 スタッフの皆様へ

日頃よりご指導頂き誠にありがとうございます。
私ごとで恐縮ですが、この度、2月1日付けにて泉病院の副事務長として異動することになりました。長らく地域医療連携室に在籍し、先生方には大変お世話になりました。

坂総合病院地域医療連携センター担当事務部長 高橋 輝美

急な決定にてご挨拶に伺えないまま異動の失礼をお許しください。
今後とも坂総合病院並びに地域医療連携センターをよろしく願っています。
先生方のますますのご健勝を心よりお祈り申し上げます。

編集後記

このたび、当院広報紙「NEWS」編集委員になりました伊藤と申します。地域の皆様、登録医はじめ地域の先生方に、坂総合病院の様々なトピックスをお伝えし、皆様からより一層信頼頂きますよう、「NEWS」発行に精進する所存でございます。不慣れなこともあり、行き届かない点も多々あるとは思いますが、皆様のご指導を頂きながら日々努力して参ります。末永く「NEWS」ともどもよろしく願っています。
(担当事務部長 伊藤 恵)

公益財団法人 宮城厚生協会 坂総合病院

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5
電話 022-365-5175 (代表)
FAX 022-365-3620